



令和元年度教育行政アンケートの結果と考察 (ダイジェスト版)

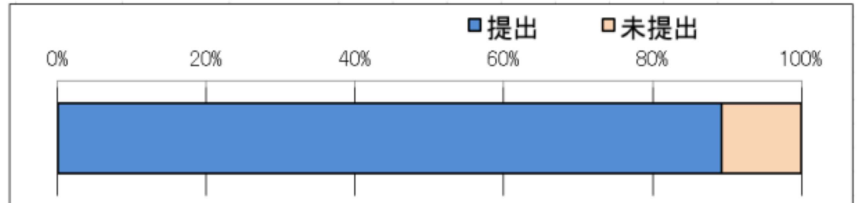
令和元年10月実施
葛尾村教育委員会

【村の教育への関心】

1. アンケートの提出状況について

【考察】

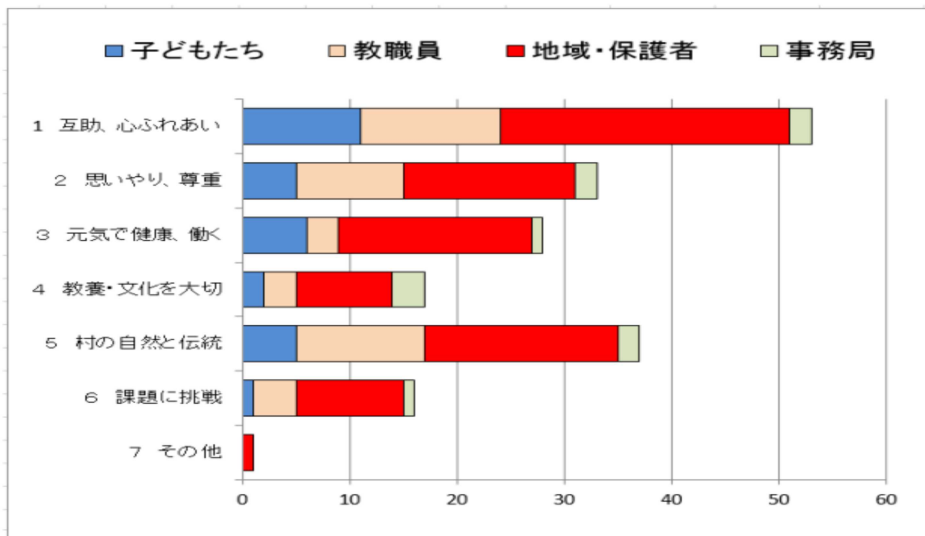
アンケートは、103名の方々(小中学生15名、教職員22名、保護者15名、地域住民45名、教育委員会事務局6名)



に依頼。そのうち92名から回収。提出の割合は89%であり、教育への関心が低くはないことが見て取れます。小中学生、教職員、保護者、事務局の提出率は100%でした。

【村の教育全般に関して】

2. 葛尾村は、どのような村でありたいですか(○を2つ)



【考察】

子どもたち、保護者、教職員、地域の方々ともに、傾向は大きくは変わらず、「ふれあい」「村の自然・伝統」「思いやり」などを大切にした村でありたいと考えています。上位の4項目については、昨年度と同じ結果でした。

3. 葛尾村の素晴らしいところは、なくしてはいけないものは、どのようなものですか(抜粋)

(児童・生徒)

◎自然が豊かで、みんなが協力していること、四季の移り変わり

○葛尾村の自然をなくしてほしくない

・森や人々が素晴らしいと思います

・村民の心の温かさ。挑戦し続けること

・近所の仲が良いところ

・お互いを思いやる気持ち ・特産物。葛尾のみんなをなくしたくない。あと学校でみんな仲がいいこと ・葛尾村の文化(宝財踊りや三匹獅子)

・地域のつながり。例：知らない人でも挨拶してくれる。向上心など…

(保護者・地域住民・教職員)

《自然》《伝統》

◎村の自然の豊かさ、閑静な感じ。ゆったりとした雰囲気。四季折々の自然、子育てしやすい環境(早く元に戻って欲しい)

いさつや行動をすること

- ・小さなことでも、意識的にチャレンジすること。チャレンジする村になってほしいです
- ・できるだけ村に足を運んで、皆で笑って過ごす
- ・互いに助け合う。村の文化、村祭り、自然豊かな村にする
- ・心が痛んだときに自分を迎え入れてくれる人々の笑顔。地域ののどかな景色、それらを自分自身に継続したい。花と花で心をつないでいきたい
- ・原発事故により汚染された村を取り戻すための努力
- ・住民の声をしっかりと聞き、それを生かせるようにすること
- ・震災でマイナスになった葛尾村のイメージアップと新たな住民を招き入れられるような施策の立案と展開
 - ・目の前のことをしっかり頑張ることが大切だと思う
- ・村に実際に住んで、村外から来た人たちとふれ合う機会を大切にしたい
- ・古い文化などを残すことも大事だが、若い世代に住んでもらうために、新しく何かを始めたり、自分も新しい住人を優しく迎え入れることが大事だと思う
- ・村への誇りと愛情を持ち、人を大切にしながら、自他共に幸せを分かち合い、学び続け、地域のために出来ることを行うこと
- ・便利さを求めるばかりでなく、不便でも、納得できるものを得られるよう努める気持ち

(保護者)

- ・葛尾の取り組みを外部に教えてあげたい
- ・いろいろな行事に関わる（子どもと一緒に）。知り合いを誘ったり、同じ学校等に通っていた子、保護者といつまでも仲良く
 - ・なるべく村の事業に多く参加する
- ・もっと子どもたちが増えるように、村の行事や学校行事などに積極的に参加し、子どもたちの楽しそうな様子などを、葛尾に戻るか悩んでいる知り合いに情報を提供できればと思います
 - ・住民が自分から色々な交流をする。楽しいことを増やす
- ・少しでも色々なことに協力し、若い人と先輩方のつながり、交流をできるようにする
- ・出来るところからいろいろやる。無理せずに長く仕事を続けること
- ・年に一度、村全体でゴミ拾いとか草刈りをしたらいいと思う
- ・情報を知らない人に教えてあげたい、情報を発信する場所を設けることが大切だと思う
- ・村に戻ることに今すぐには難しいですが、時がきたら村に戻りたいと思う
- ・一村民として、村に溶け込んで暮らすこと
- ・個人としては、自分の出来ることに関わって行くことが大切だと思うので、積極的に関わっていききたい

(教職員)

- ・子どもたちに、葛尾村はよいところで、これからもずっと葛尾村を大切に思っていく人に成長してほしいので、そういう気持ちになっていくような声かけができるといいなと思います
- ・児童に葛尾村のよさを自覚できるように働きかけること
- ・自分の仕事に真摯に向き合うこと
- ・村民の皆さんと積極的にコミュニケーションを図ること
- ・地域行事に参加すること、その中で子どもたちと関わること
- ・人と人とのつながり（ふれあい）を大切にするために、あいさつ等を含め村民同士の交流を通して、自分自身も積極的に参加していくことが必要だと思います
- ・職責を全うすることが村の発展につながり村をつくっていくことにつながると考えています。特に今年度は、子どもと村民との交流に重点を置いています
- ・生徒に対して「葛尾の学校に通っていて良かった。楽しい」と感じる事が出来るような



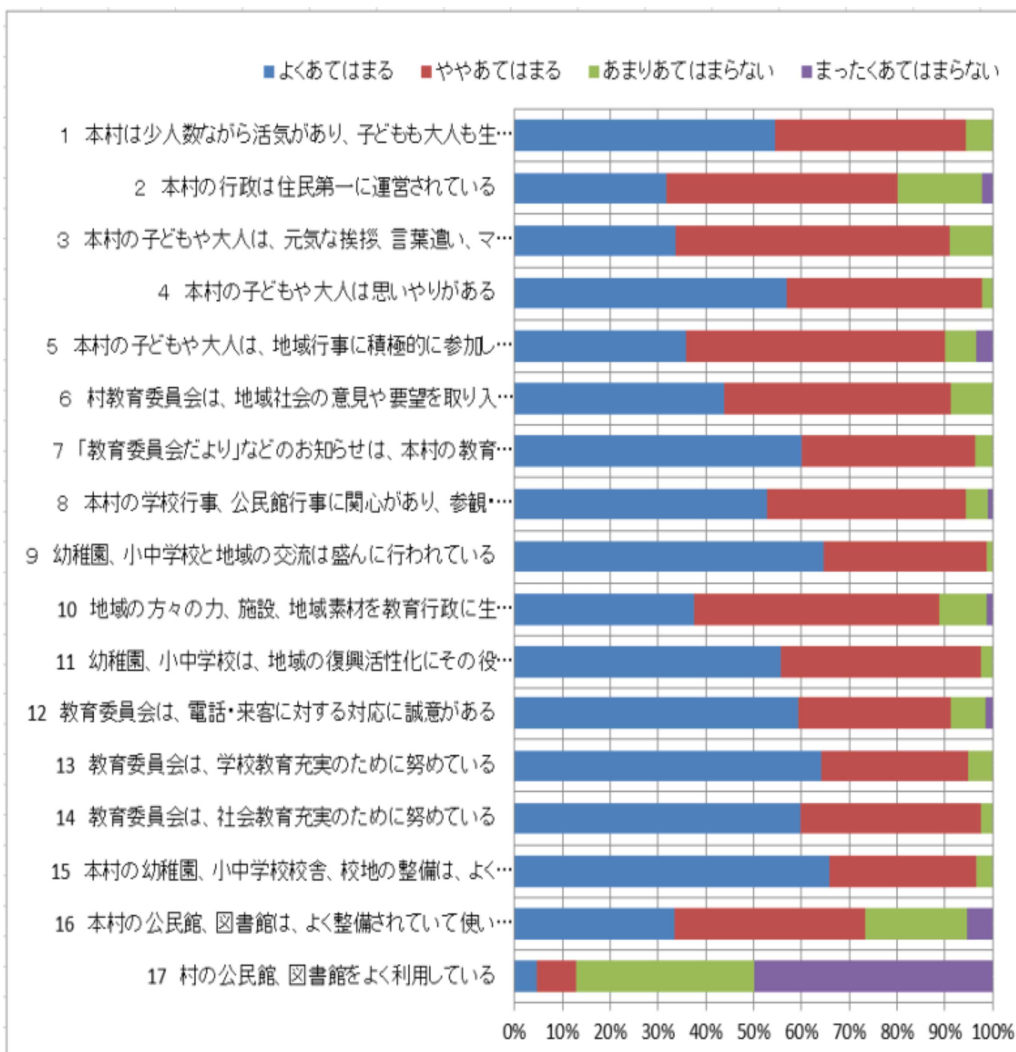
学習指導、生徒指導に努める

- ・私は教員として、子どもたちが生き生きと生活できる学校（村）にしたいと考えています
- ・一人一人の専門性や興味関心が活かされる場が多くあり、その力が発揮できる場があること
- ・葛尾村というところを選んで住んでおられる保護者の方々が、気軽に子どもを預けたり、ちょっとした話をしたりして、子育てを頑張っている保護者の方を応援できればと思う。いろいろ問題山積みでまだまだですが…
- ・幼児教育の充実に努めたいと思います

【考察】

多くの方々が、自分の得意分野で、また置かれている立場で、努力したいことを挙げています。また、「情報等の発信」「PR」「交流」などとともに、「教育」に期待を寄せている意見も多く見られます。よりよい村づくりを目指して、教育委員会としては、課題を明確にしてその解決に努めるとともに、学校教育、社会教育の充実のため、子どもたちの気持ちをはじめ、皆さんの思いを形にしていくことが大切と考えます。

5. 村教委・幼少中学校等の取り組みについて、次の各項目であてはまるところに○印を



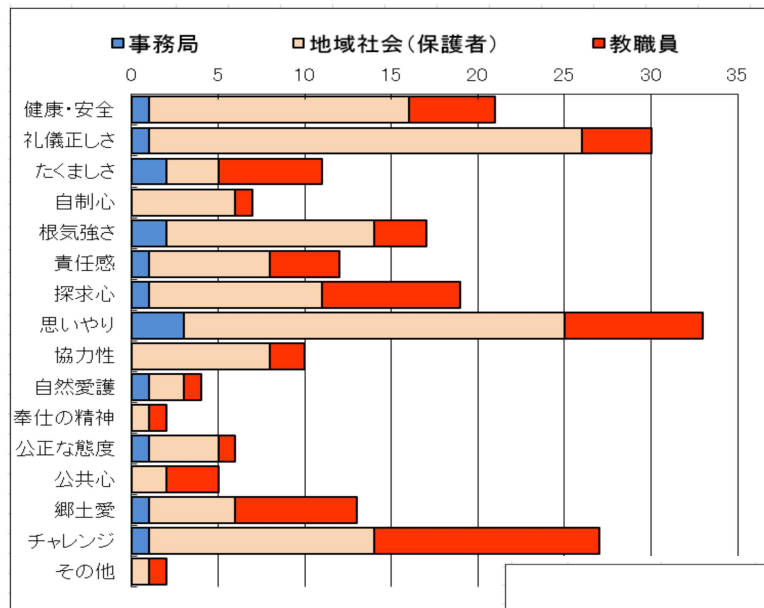
【考察】

多くの項目で「よくあてはまる」「ややあてはまる」の評価を得ており、前年度に比較しても、その割合が多くなっています。前年度最も評価の高かったのは「7 教育委員会だよりなどのお知らせは、本村教育の理解に役立っている」でしたが、今年度は「9 幼稚園、小中学校の地域との交流」「13 教育委員会の努力」「15 園、校舎の整備」が高評価となりました。評価の低い項目は、前年度同様「16・17 公民館の整備と

利用」の項目。読書人口を増やす取り組みにも、今後力を入れていきたいと考えています。

【幼稚園、小・中学校教育に関して】

1. 現在の葛尾幼小中学校の生徒に最も身につけさせたいことは、どんなことですか。

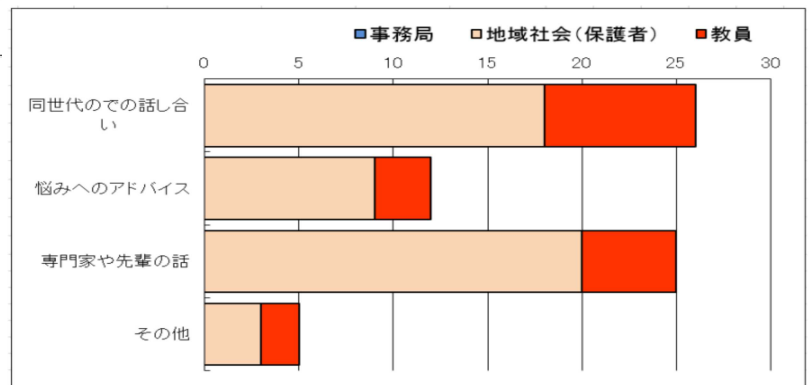


【考察】

「思いやり」「礼儀正しさ」「チャレンジ精神」「健康安全」が多く、「探究心」「根気強さ」「郷土愛」「たくましさ」「責任感」と続く。教職員は「チャレンジ精神」が多く、保護者・地域住民は「思いやり」「礼儀正しさ」「健康安全」の順で続いている。

【家庭教育全般に関して】

1. 家庭教育に関わる行事や研修などで、このようなものがあれば参加したいと思うのは、どのようなものですか。



【社会教育に関して】

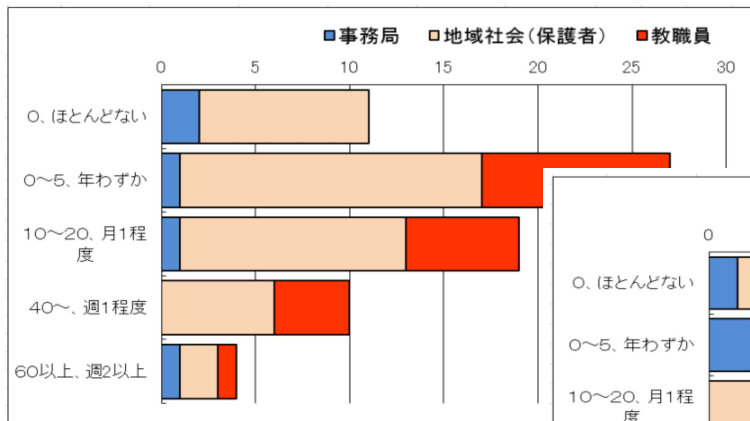
2. 葛尾村の公民館行事などで、改善点があれば。

- ・ 保護者優先の給食試食会をつくってほしい（年一回でも）
- ・ 子どもが集まるようなイベントがあればと思います。村内の子どもだけではなく、他地域からもあつまるとような
- ・ 文化祭やスクールフェスタなどで、賞をあげる種目を作っては？ 野菜や絵、手芸など
- ・ 村社会福祉協議会や葛尾むらづくり公社の取り組みなども意識しながら、社会参加の場づくりを進めていただきたい。連携と役割分担ができれば理想です
- ・ 公民館行事と社会福祉協議会の行事が重なることがあるので、連携して企画してほしい
- ・ 多くの行事を企画してもらえているので、まめな声かけを行い、参加者を増やすことが大切だと思います
- ・ 転入者との交流の場、教室のようなものの検討をしては
- ・ 年に1回「伝習館をよく見てみよう」という内容で、半日ぐらいの時間をかけて、村の歴史や文化を学ぶ機会があれば、公民館での他の活動にも繋がるのではないかと
- ・ 人口が少ない中での活動、大変だと思います
- ・ 公民館行事や様々なイベントに参加するために、住民の方々は「元気で健康でいなくては！」という気持ちを強くする機会になっていると思います。今後は、健康づくり事業や介護予防事業等、様々な方面から住民の方々の健康や元気、文化等をバックアップできればよいと思います
- ・ 葛尾村の伝統・文化等をもっとアピールすればよいと思います

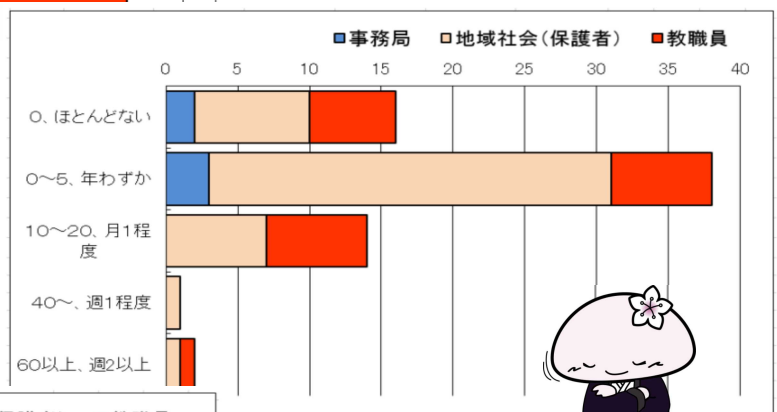
- ・葛尾村外の人たちとの交流があると活気が出るのかなと思います
- ・「村外のお友達も誘ってご参加ください…」という呼びかけを継続的に行うことで、葛尾村への関心が高まるかも…と思います
- ・スクールフェスタ&公民館まつり、より多くの村民の方々に楽しんでいただけるようにしたいです

3. 習い事や趣味の活動は、どのようなものですか。

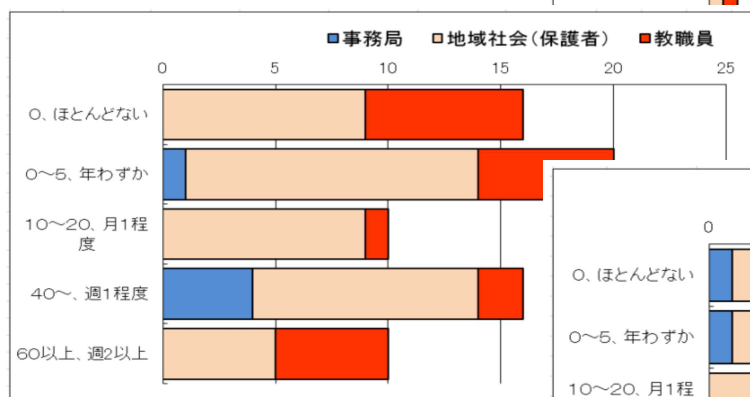
(1) 1年間に読む本の冊数は



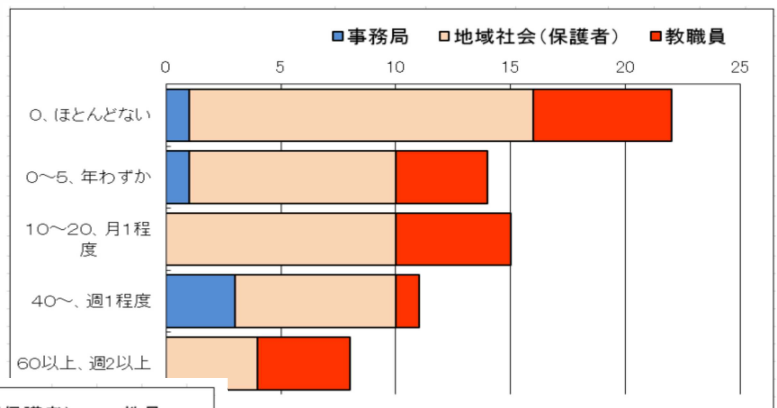
(2) 文化・芸術に直接ふれる機会は
(音楽・演劇・美術館訪問など)



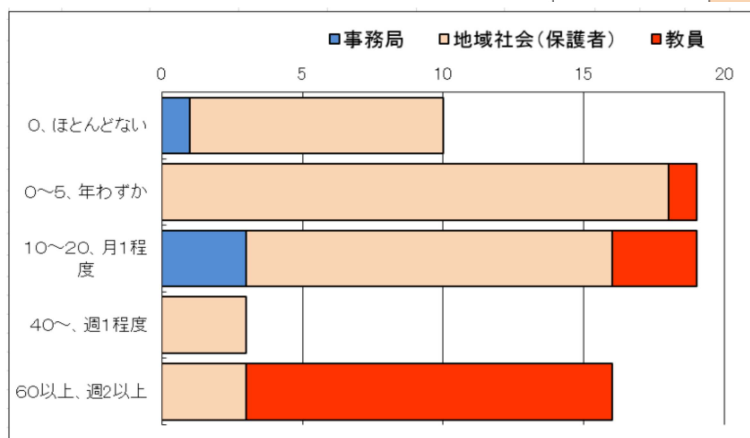
(3) スポーツや運動をする機会は



(4) 習い事や趣味の活動は



(5) 幼小中の子どもたちと
ふれ合う機会は



【考察】

スポーツや運動する機会、自分の趣味を持ち、活動している割合は高い。ただ、「ほとんどない」「年にわずか」という方も5割になる。

今後も、文化芸術、本との出会い、子どもたちとの交流の機会を大切にしていきたい。

【教育全般を通して】

○ 教育委員会や公民館へのご要望等がありましたら、ご記入願います。(検討してまいりたいと考えます。お応えすることができないこともあることを、あらかじめ御了解願います。)

- ・素晴らしい教育をしているのだから、子どもが少なくなっても縮小せず現状を維持してください。
- ・村の皆様には、いつもよくしてもらっていると思っています。本当に困ったときは、学校、スクールカウンセラー、役場の皆様に助けられているので、心強い村だと私は思います。次世代につなげてほしいところですネ
- ・いつも子どもたちのためにご尽力いただきありがとうございます。何とか子どもたちの数が増えるように、戻ってきてくれるように、戻るか迷っている人や他市町村などにアピールできればいいですね
- ・ママさん教室。小さい子どもがいるママさんに活動の場や活動資金、文化芸能にふれ合う機会を作って、若いうちから公民館活動に出てもらって、現在多種の教室が高齢化しているので、若い女性が活動に参加しやすくなるよう工夫していきたい
- ・チャレンジあるのみ
- ・移住、移住又は帰村を考える上で、子どもの教育は最も重要な項目の一つだと思います。少人数ならではの教育に磨きをかけていただきながら、外への情報発信について、これまで以上に取り組んでいただきたい
- ・教育委員会や公民館は、村民に一番近い存在であってほしい。そこに携わっている人は、気持ちや考え方を見直して、村民のリーダーでいていただきたいです
- ・他校との交流を含めて、異世代間の交流をこれからも継続してほしい
- ・「いじめ」問題等で謝罪を繰り返している学校長や教育委員会をマスメディアで見ると、本当に教育者かと疑問を抱かざるを得ません。非常に悲しく思えるので信頼回復に努められるよう正義を発信していただきたい
- ・0～2歳の託児体制は整えた方がよいと感じます。若い女性が働けない環境は、現代社会にマッチしていないと思います
- ・先日のふれ愛給食会ではお世話になりました。短時間でしたが、児童・生徒さんとふれ合うことができ、楽しい時間を過ごさせていただきました。また、地域の方々との交流も図れるよい機会だと思いました
- ・先日、薪能に参加させてもらいました。夕暮れの葛尾大尽屋敷跡で舞台まで作られて、ジブリのような世界観を感じました。この雰囲気は、葛尾村ならではの気がします。なので、せっかくなので、子どもたちにも体感させてあげられたらよかったと思いました
- ・色々な課題は多いかもしれませんが、とてもきめ細かく、学校に対していただいていることは、とてもありがたく、心強く思っています。このような環境にあるので、私たち教職員(学校)もがんばれます
- ・これからも葛尾村の子どもたちが、生き生きとたくましく育っていけるように 全力で頑張っていきたいと思います。よろしくお願いします



「アンケートへの皆様の御協力、誠にありがとうございました。

これからもよりよい教育行政を目指して努めてまいります」(教育長 小野田 敏 之)